

28年度 京都大 推薦・AO

平成 28 年度 京都大「特色入試」 導入初年度 志願者速報！

志願倍率は最大で理学部の 11.8 倍！
推薦要件の厳しい工学部では志願者ゼロも

旺文社 教育情報センター 27年11月9日

平成 28 年度入試より、東京大・京都大において新たに推薦・AO 入試が導入される。両大学ともほぼ全ての学部において 11 月 6 日までにし願を締め切り、このうち京都大は志願者数を本日、発表した。

◆文系学部に志願者集まる！理系学部は推薦要件がカギか

以下に各学部の志願者数を一覧で示した。

なお、教育、理学部、医学部人間健康科学科では第 1 次選考の結果も公表されている。

学部・学科・専攻		募集人員	志願者数	倍率	第1次選考合格者	
総合人間学部		5	29	5.8		
文学部		10	40	4.0		
教育学部		6	25	4.2	12	
法学部		20	一般入試の後期日程として実施			
経済学部		25	77	3.1		
理学部		5	59	11.8	59	
医学部	医学科	5	5	1.0		
	人間健康科学科	看護学専攻	10	13	1.3	13
		理学療法学専攻	3	7	2.3	7
		作業療法学専攻	3	2	0.7	2
薬学部	薬科学科	3	2	0.7		
工学部	地球工学科	3	0	0.0		
	電気電子工学科	5	12	2.4	-	
	情報学科	2	1	0.5		
	工業化学科	若干	0	-		
農学部	食料・環境経済学科	3	20	6.7		

- ・志願倍率は最大で理学部の 11.8 倍。全体的に文系の学部志願者が集まり、医、薬、工学部では定員に満たない学科もあった。
- ・工学部で定員に満たなかった 3 学科はいずれも推薦要件に国際科学オリンピックに関する条件が含まれている。また、工学部は第 2 次選考で筆記試験を実施しない点も、他学部とは異なる。
- ・第 1 次選考の結果、理学部、医学部人間健康科学科は不合格者が出なかった。

◆超難関のエリート選抜入試

「特色入試」では、従来必要とされてきた学力に加え、高校在学中の学びの実績や京都大で学ぶ意欲も踏まえて総合的に選抜を行う。そのため、全ての学部の特色入試において、従来の筆記試験だけではなく、書類審査も課せられている。

この提出書類は高校段階で達成したこと等の記載及び膨大な準備が必要で、受験生はもちろん高校の先生にとっても、相当な手間が想定される。

また、第 2 次選考の筆記試験（工学部を除く）は、“超難問”が出題されることで、すでに注目を集めている。平成 26 年 12 月に公開された特色入試サンプル問題を見ると、学力だけでは到底太刀打ちできない、思考力を要する問題が多い。

さらに志願者には、センター試験が 7～8 科目課せられ（医学科以外）、学科によっては高水準の基準点をクリアしなければならない。これらの関門を突破してくる人材が、京都大の求める新時代のエリートなのだろう。

次ページから「特色入試」概要一覧を掲載

京都大「特色入試」概要

学部(学科=専攻)	募集人員	実施方式	出願資格中の卒業年度制限	出願要件中の成績基準	提出書類	セ試の科目数	入試日程	選考方法の流れ(1次選考→2次選考→最終選考)	
総合人間	5	学力AO	1浪まで可	評定平均値4.3以上	調査書、学業活動報告書、学びの設計書	7科目	出願=11/2~6、1次結果発表=11/30、2次選考=12/23、最終合格発表=2/10	書類審査→総合問題(文系100点、理系100点:数学Ⅲを含む)、セ試(800点中85%以上)	
文	10	学力AO	1浪まで可	-	調査書、学業活動報告書、学びの設計書	8科目	出願=11/2~6、1次結果発表=2/3、2次選考=2/5、最終合格発表=2/10	セ試900点中760点以上で上位30名→「学びの設計書」に関する論述、論文、書類審査(A~Cの3段階評価でAが合格)	
教育	6	学力AO	1浪まで可	評定平均値4.3以上	調査書、学びの報告書、学びの設計書	7または8科目	出願=10/5~9、1次結果発表=11/6、2次選考=11/28・29、2次結果発表=12/15、最終合格発表=2/10	書類審査→課題(100点)・口頭試問(100点)→セ試900点中80%以上	
法	20	後期日程	-	-	調査書(学科・コースごとの学年における順位の記載が必要)	8科目	出願=1/25~2/3、1次結果発表=2/28、2次選考=3/12、最終合格発表=3/23	セ試(900点)、調査書→募集人員の10倍程度に絞る→小論文(100点)・セ試得点(270点)	
経済	25	学力AO	-	-	調査書、学業活動報告書、学びの設計書	8科目	出願=11/2~6、1次結果発表=2/3、2次選考=2/5、最終合格発表=2/10	セ試900点中630点以上で上位80名→書類審査(100点)、論文(500点)、セ試(400点)	
理	5	学力AO	1浪まで可	-	調査書、学業活動報告書、学びの設計書	7科目	出願=10/5~9、1次結果発表=11/6、2次選考=11/28・29、2次結果発表=12/15、最終合格発表=2/10	書類審査→数学(60点)、口頭試問(40点)→セ試900点中630点以上	
医	医(注2)	5	推薦入試	現役のみ。ただし国際科学オリンピック日本代表は高校2年生も可(飛び入学)	評定平均値4.7以上、かつTOEFL-iBT83点以上	調査書、推薦書、学びの設計書、TOEFL-iBTの受験者成績書原本、各種コンクール・科学オリンピックに関する資料(高校2年生は必須)	セ試免除	出願=11/2~6、1次結果発表=11/30、2次選考=12/22・23、最終合格発表=1/13	書類審査→小論文(160点:理科<物理>・化学・生物のうち2科目)の基礎知識が必要)、面接(240点)
	人間健康科学=看護学	10	学力AO	現役のみ	評定平均値4.3以上	調査書(高校2年までの成績)、学業活動報告書、学びの設計書	7科目	出願=10/5~9、1次結果発表=10/30、2次選考=11/14・15、2次結果発表=12/15、最終合格発表=2/10	書類審査→論文(100点)、面接(100点)→セ試950点中760点以上
	人間健康科学=理学療法学	3							
	人間健康科学=作業療法学	3							
薬	薬科学	3	学力AO	現役のみ	評定平均値4.3以上、かつTOEFL-iBT75点以上	調査書、学業活動報告書、学びの設計書、TOEFL-iBTの受験者成績書原本	7科目	出願=11/2~6、1次結果発表=11/30、2次選考=12/23、2次結果発表=1/13、最終合格発表=2/10	書類審査→論文(200点:化学に関する英文を読み日本語で論述)、面接(200点)→セ試900点中740点以上
工	地球工	3	推薦入試	現役のみ	◎	調査書、推薦書、学びの設計書、顕著な活動実績の概要	7科目	出願=11/2~6、1次結果発表=11/30、2次選考=12/24・25(地球工は24のみ)、2次結果発表=1/13、最終合格発表=2/10	書類審査→口頭試問(500点)、面接(500点)→セ試900点中80%以上
	情報	2			◎				
	電気電子工	5			-				
	工業化学	若干			◎				
農	食料・環境経済	3	学力AO	3浪まで可	-	調査書、学業活動報告書、学びの設計書	7科目	出願=11/2~6、1次結果発表=11/30、最終合格発表=2/10	セ試(900点中720点以上)・書類審査→小論文(200点:英文課題2問を読み日本語で論述)

(注1)出願資格・出願要件や提出書類等の詳細は、『平成28年度 京都大学 特色入試学生募集要項』や、大学のホームページを参照のこと。

(注2)医学部医学科の特色入試は、高校2年生の出願可(ただし、国際科学オリンピック<数学・物理・化学・生物>の日本代表で世界大会出場者)。

(注3)特色入試内では、法を除き学部・学科間の併願は不可。ただし、一般入試(前期日程)との併願は可。

(注4)◎=国際科学オリンピックの出場者、または代表候補、国内大会の成績優秀者など。

※特色入試の内容については以下の記事を参照。

2016年度入試から導入！東京大「推薦入試」vs 京都大「特色入試」！

<http://eic.obunsha.co.jp/analysis/201508-02/html/1>